

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会
第11回 議事録(要旨)日時：令和2年12月4日(金)
場所：自然学総合研究所、各務原市内

参加者一覧

出席者	安藤 辰夫 大塚 之稔 西條 好迪	(一財)自然学総合研究所客員研究員 日本野鳥の会岐阜代表 (一財)自然学総合研究所理事長
事務局	黒木 雅之 山田 遼太 北川 大希 他2名	恵那土木事務所 濃飛横断道路建設課 技術課長補佐兼係長 恵那土木事務所 濃飛横断道路建設課 主任技師 恵那土木事務所 濃飛横断道路建設課 技師 玉野総合コンサルタント株式会社

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会 議事録(要旨)

議題	発言者	番号	意見の主旨	当日の回答
1. これまでの経緯について				
	検討会委員 一同	1	これまでの検討会の経緯を確認した。	—
2. 令和2年繁殖期の調査結果について				
	事務局		第10回検討会以降の現地調査等の実施状況や、新たに得られた情報を報告した。	—
	検討会委員	2	平成28年から平成31年までの3年間は営巣木の近くで造成工事が行われていたことで、一時的に営巣を放棄していたと考えられる。令和2年は大部分の造成工事が完了したので、古巣に戻っての営巣を再開したと思われる。	—
	検討会委員	3	周辺の残置林は少ない状況であるが、今年度と同様に来年度以降も繁殖活動を行う可能性が高い。来年度以降も引き続き調査を継続し、繁殖状況を確認しておくこと。	いただいた意見を参考に対応する。
	検討会委員	4	営巣木と道路予定区域、宅地造成区域の位置関係を確認すること。	いただいた意見を参考に対応する。
3. 令和3年調査計画(案)について				
	事務局		3月に定点観察にて岩屋堂地区への飛来状況を把握し、4月～5月上旬に定点観察、繁殖状況調査、5月～7月に繁殖状況調査を計画する。	—
	検討会委員	5	繁殖活動を確認するために、3月と4月に定点観察及び繁殖状況調査をそれぞれ2日間ずつ実施すること。 5月以降は、調査結果より適時、実施方針を決めていく。	いただいた意見を参考に調査を実施する。
	検討会委員	6	周辺環境の変化が繁殖活動に影響を与えるため、調査時には周辺環境の変化についても確認しておくこと。	いただいた意見を参考に対応する。
	事務局		令和3年度の調査計画は、今回の意見を踏まえて実施する。次年度も、令和2年の調査結果を踏まえ、今後の調査や配慮事項について検討委員会に諮り指示を仰ぐ。	—